

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	図書館奉仕事業			会計	款	項	目	大事	小事
				01	10	05	07	02	01
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	図書・博物館				
施策	3-1	いつでも、どこでも、誰もができる生涯学習の推進			主管課長	小栗 信一郎			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	図書館利用者	意図	気軽に利用され、満足いただけるサービスを提供できる図書館になる。
事業内容	図書館資料の収集、閲覧、貸出、読書相談、予約サービス、相互貸借及び読書普及を目的とした各種講座や集会活動の開催等の事業を実施する。また、来館できない高齢者などに、本の宅配サービスを実施する。			
事業開始から現在までの状況変化	中央館、地域館2館、分館4館（おおたかの森こども図書館含む）とおおたかの森出張所内図書館予約資料の受渡し業務を実施し図書館業務を行っている。駅の返却ボックスは、10箇所実施。平成29年3月に「流山市子どもの読書活動推進計画」が策定された。高齢者の利用者増により宅配の利用が増加している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標		名 称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標 方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	利用者数	322904	322063	327522	人	↑↑↑		
	②	貸出冊数	1138848	1140302	1170900	冊	↑↑↑		
	③	月曜開館利用者数	4363	3551	3595	人	↑↑↑		
	④	宅配サービス利用冊数	187	532	553	冊	↑↑↑		
	⑤	各種事業への参加者	11654	12418	16566	人	↑↑↑		
	⑥								
	指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）	
事務事業のコスト			平成27年度	平成28年度	平成29年度	①返却ボックス利用 3.9%増 ②おおたかの森出張所ピックアップサービス利用者数 20.6%増 ③おおたかの森出張所ピックアップサービス貸出数 22.3%増 ④おおたかの森駅図書返却ボックス利用 10.3%増			
事務事業の総コスト(a=b+c)			77,497,678	79,416,909	82,049,600				
事業費（b）（円）			33,648,978	34,297,959	37,010,400				
うち一般財源			33,648,978	34,297,959	37,010,400				
職員給与と費(c)(円)			43,848,700	45,118,950	45,039,200				
人役・職員(人)			4.13	4.55	4.55				
人役・再任用(人)			1.40	1.90	2.10				
人役・臨職(人)			6.50	6.30	6.40				
人役・嘱託(人)									
初期投資コスト（円）（建設又は取得年度のみ記入）									
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）									

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	条例の改正を行う。計画的に準備を行い多くの参加が見込める時期に集会事業を行う。	③取組の課題	集会事業増加に伴う、貸出し、返却の増加が成果として表れた。特におおたかの森駅の返却及びおおたかの出張所の貸出しの増加に伴う事務処理量の増加が激しく、課題である。
②今年度(H29)に実施した取組	条例の一部改正を行う。今年度は夏休み・年末の利用の多い時期に臨時開館した。また集会事業については、参加者数が大幅に増加した。	④今後(H30以降)の改善計画	貸出し増加に伴い週明けは、おおたかの森駅・江戸川台駅の図書返却ボックスが満杯になることも増えている。新規に大容量の返却ボックスを計画的に購入する必要がある。